

No.14 2024年3月3日

受難節(レント)第三主日礼拝  
 説教『主イエスの呼びかけに応える恵み』  
 山根 眞三 師  
 司会 根角 静香 さん  
 奏楽 山根 由美子 さん  
 招詞 エペソ人への手紙5章1～2節  
 主の祈 (564)  
 讃詠 5 4 6  
 交読詩編 詩 1 4 1 編  
 祈禱  
 讃美歌 21 - 3 1 4 ①③⑤  
 使徒信條 (566)  
 聖書 ルカ福音書9章57～62節  
 説教 (口語訳118頁、新共同訳142頁)

『主イエスの呼びかけに応える恵み』

祈禱  
 讃美歌 1 3 9  
 献金  
 感謝報告  
 報栄 5 3 9  
 祝禱  
 後奏

次週の礼拝(受難節第四主日礼拝)  
 説教『地に落ちた一粒の麦から命が』  
 ヨハネによる福音書12章20～26節  
 招詞 IIコリント1章3～5節/交読詩篇132編  
 讃美歌 546、21-525、145、540

礼拝当番  
 今週 3日 司会 根角さん 献金 高橋さん  
 次週 10日 司会 吉丸さん 献金 神笠さん  
 会堂清掃奉仕 3月8日(金)  
 午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

- ★教会学校 午前9時45分
- ★出会いのひととき 礼拝後～  
それぞれの思いを語り合しましょう。
- ★3月定例教会役員会 礼拝後～2時  
教務・教勢報告、会計報告、1月分会計報告  
役員の仕事と健康を覚えてお祈りください。

今週の集会/スケジュール

- §広島拘置所教誨師会総会 3月5日(火)14:00～
- めぐみ幼稚園礼拝 3月8日(金)10:30～
- ★世界祈禱日2024 3月8日(金)13:00～  
於:広島主城教会 パレスチナからのメッセージ  
愛をもって互いに忍耐しなさい。
- §広島矯正管区教誨師会理事会 3月8日(金)13:30～  
会場:広島矯正管区会議室
- ★信徒会チャリティコンサートと講演会 3月9日  
(土)14:00～16:00 於:広島牛田教会  
ピアノ演奏(三輪真理さん)、合唱、和楽一座  
講演:被災地でも受けるよりも与えるほうが幸い  
講師:福音自由教会可部チャペル北野献慈牧師  
ぜひご出席ください。

次週以降のスケジュール等

- §広島キリスト教信徒会理事会 3月12日(火)11:00～
- §広島拘置所教誨奉仕 3月13日(水)13:30～16:00  
施設にある方の信仰生活をお祈りください。
- §広島市キリスト教会連盟総会 3月14日(木)15:00～  
会場:広島ルーテル教会
- めぐみ幼稚園誕生日礼拝 3月15日(金)10:30～
- レコードコンサート 3月17日(日)13:00～15:30  
ベートーヴェン、ブラームス 交響曲 2曲他
- ♪ヒロシマハンドベルリンガーズ能登半島支援等  
チャリティコンサート 3月24日(日) 於:教会

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	3	9	12

◇今週の説教要旨(受難節第三主日礼拝)

『主イエスの呼びかけに応える恵み』 ルカ福音書9:57～62  
 受難節の歩みも進んできた。イースターの光りを少し感じながら歩んでいる。しかしイースターが近くなればなるほど私たちはイエスの受難の出来事、受難についてのイエスの発言について深く関わっていきたくものだ。そこにイエスの私たちへの愛が見えてくるからだ。しかしそうなのだが、難しいイエスの発言にも出会うことがある。イエスは人の子の受難預言をされた。その預言がきっかけなのだろうか。弟子達の間で一番論争が出てきた。それは私たちがつついってしまう誘惑なのだろうか。12人のうちで誰が一番偉いのだろうかの思いを抱いた彼らに子どもを受け入れることを求めた。最近よく言われることは、自尊感情を持つようにと。また子どもが自尊感情を抱けるようにと言われる。私たちはとても自分を大事にするのではないだろうか。自分の思う枠の中で。自尊とはどんなことをいうのだろうか。このような弟子達とイエスの旅、活動している状況で、一人の人が従っていきたく願った。イエスに従う素晴らしさを見たのだろうか。イエスに従うことの厳しさなのだろうか。イエスと共に歩むことは結構難しいのだと拒絶?なのだろうか。ところがイエスは別の人には従って来ることを求めた。彼の心が深い悲しみの中にあっただらうか。彼は父の葬りを済ましてからにしてほしいと願った。イエスの彼への応答が不思議だ。彼に悲しみの中に埋没するのではなく、神の国を宣べ伝える喜びに生きることを求めた。家族への暇乞いを求める者には、時が与えられれば、その時を適切に用いることを求めた。今日のイエスを求め、イエスに呼びかけられた人への対応は結構難しい。そこに示されることはイエスと共にある恵みが示されているのではないだろうか。どのような状況の中にあっても、私たちを導き、慰め、励ますイエスと共に歩んでいきたい。